

2026年5月期 第2四半期決算概要

2026年1月28日
アスクル株式会社



【免責事項】

本資料には、当社グループの現在の計画や業績の見通しなどが含まれております。これら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予想したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素により、この計画・予想などとは異なる場合があります。本資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。なお、本資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。

【セグメント】

- ✓ 当社は、「eコマース事業」、「ロジスティクス事業」を報告セグメントとしております。「eコマース事業」はOA・PC用品、文具・事務用品、生活用品、家具、飲料・食品、酒類、医薬品、化粧品等の販売事業を指し、「ロジスティクス事業」は企業向け物流・小口貨物輸送事業を指します。
- ✓ 各セグメントの業績算入対象となる主なサービス・関係会社は以下のとおりです。

セグメント	サブセグメント	主なサービス・関係会社
eコマース事業	ASKUL事業	ASKUL、ソロエルアリーナ、SOLOEL、新アスクルWebサイト
	LOHACO事業	LOHACO
	グループ会社等	株式会社アルファパーチェス、ビジネススマート株式会社、ソロエル株式会社、フィード株式会社、ASKUL LOGIST株式会社、株式会社チャーム ※連結消去含む
ロジスティクス事業		ASKUL LOGIST株式会社（外販）
その他		孺恋銘水株式会社

【事業年度】

当社の事業年度は5月21日から翌年5月20日まで（月度は21日から翌月20日まで）です。

【その他】

本資料の全部またはその一部(商標・画像等を含む)について、加工の有無を問わず当社の許可なく複製および転載することを禁じます。



物流センター出荷能力は回復、進行期は売上高回復に注力

26/5期 第2四半期実績および通期業績予想

- ✓ ランサムウェア攻撃によるシステム障害により大きな影響
- ✓ 第2四半期の実績を受けて中間配当は無配、通期業績予想および期末配当は未定
中期経営計画（26/5～29/5期）の重要戦略は継続、数値計画は精査

セキュリティ強化対策

- ✓ 原因分析と技術的安全対策は完了、今後はサイバーセキュリティ対策を含む
リスクマネジメント体制の再構築を図る

今後の売上高回復に向けた取組み

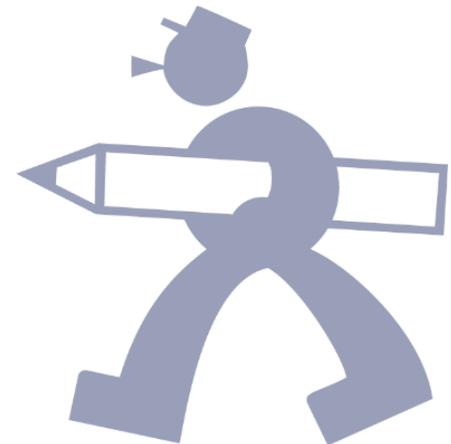
- ✓ サービスレベルは概ね正常化。主力商品のさらなる価格競争力強化、
大規模集客・販促等、売上高回復施策により、27/5期以降の業績回復を目指す

01. 26/5期 第2四半期実績

02. ランサムウェア攻撃の概要と対策

03. 事業復旧状況と売上高回復施策

04. 付録





(百万円)	25/5期 2Q累計		26/5期 2Q累計		
	実績	売上高 比率 %	実績	売上高 比率 %	前年 同期比 %
売上高	237,932	100.0	208,725	100.0	87.7
売上総利益	57,182	24.0	50,217	24.1	87.8
販売費及び 一般管理費	51,153	21.5	53,212	25.5	104.0
営業利益	6,028	2.5	△ 2,995	△ 1.4	—
経常利益	5,920	2.5	△ 3,814	△ 1.8	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,739	1.6	△ 6,612	△ 3.2	—

- ✓ **売上高**
前年同期比87.7%
- ✓ **売上総利益率**
前年同期比+0.0pt
- ✓ **営業利益**
前年同期差△90億円
- ✓ **当期純利益**
前年同期差△103億円

26/5期 第2四半期業績【四半期別・事業別】

連結

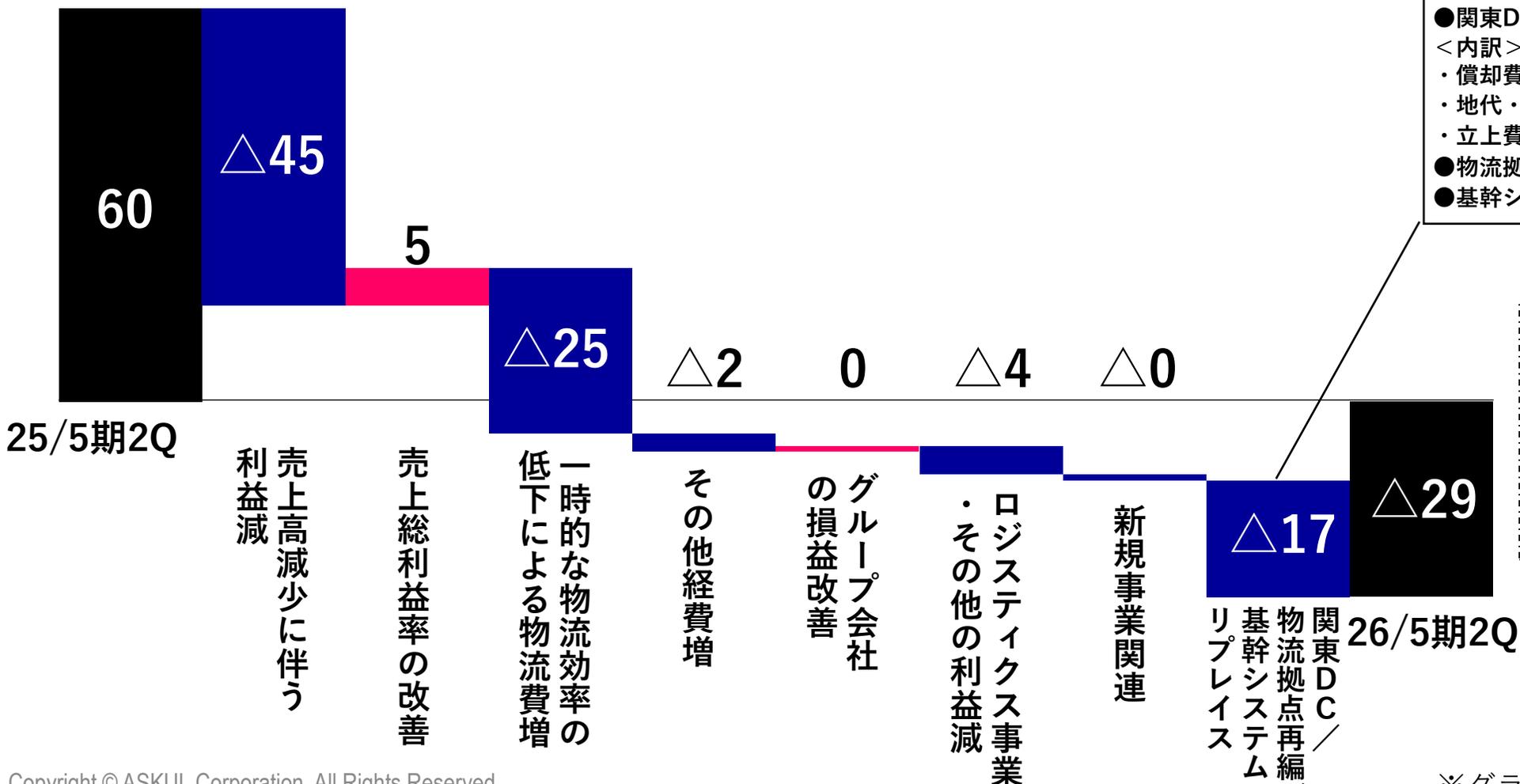


(億円)		25/5期					26/5期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	前年同期差	前年同期比 %
売上高	ASKUL事業	883	899	890	911	3,584	910	597	△ 302	66.4
	LOHACO事業	95	85	93	93	368	101	58	△ 26	69.2
	グループ会社等	183	188	205	191	769	191	191	2	101.6
	eコマース事業	1,162	1,172	1,189	1,197	4,722	1,202	847	△ 325	72.3
	ロジスティクス事業・その他	21	22	19	25	88	20	16	△ 6	72.8
	連結合計	1,183	1,195	1,209	1,222	4,811	1,223	864	△ 331	72.3
営業利益	決算賞与（引当含む）等	1	1	1	1	4	△ 1	4	3	431.2
	eコマース事業	25	34	38	42	142	10	△ 35	△ 70	—
	ロジスティクス事業・その他	0	△ 0	△ 1	△ 0	△ 2	△ 0	△ 4	△ 4	—
	連結合計	25	34	37	42	140	10	△ 40	△ 75	—

ランサムウェア攻撃による売上高減少を主要因として減益

eコマース事業

(億円)



固定費増の内訳

● 関東DC	△14.8億円
<内訳>	
・ 償却費	△ 7.5億円
・ 地代・清掃警備費等	△ 1.1億円
・ 立上費用 (一過性)	△ 6.1億円
● 物流拠点再編 (一過性)	△ 1.4億円
● 基幹システムリプレイス	△ 1.4億円

<ご参考：営業利益以下のランサムウェア攻撃の影響額>

営業外費用	
休止固定資産減価償却費	6.8億円
特別損失	
システム障害対応費用	52.1億円



株主還元

- ✓ 中間配当：無配（一時的な業績への影響と売上高回復に向けた資金投下）
- ✓ 期末配当：未定（今後の業績動向を見極め慎重に検討）

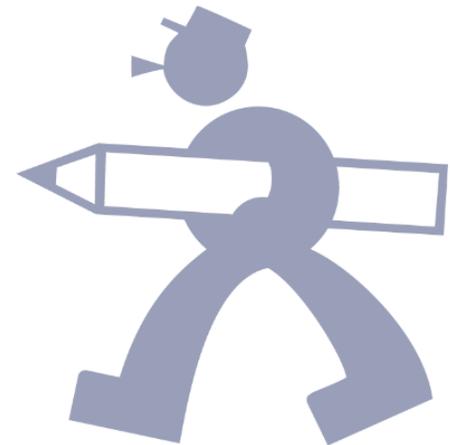
通期業績予想・中期経営計画

- ✓ 通期業績予想：未定
- ✓ 中期経営計画：重要戦略は継続し、数値計画は精査

資金調達

- 手元資金の流動性を担保すると共に、売上高の再成長に向けて機動性を確保
- ✓ 当座貸越極度額：500億円

01. 26/5期 第2四半期実績
- 02. ランサムウェア攻撃の概要と対策**
03. 事業復旧状況と売上高回復施策
04. 付録

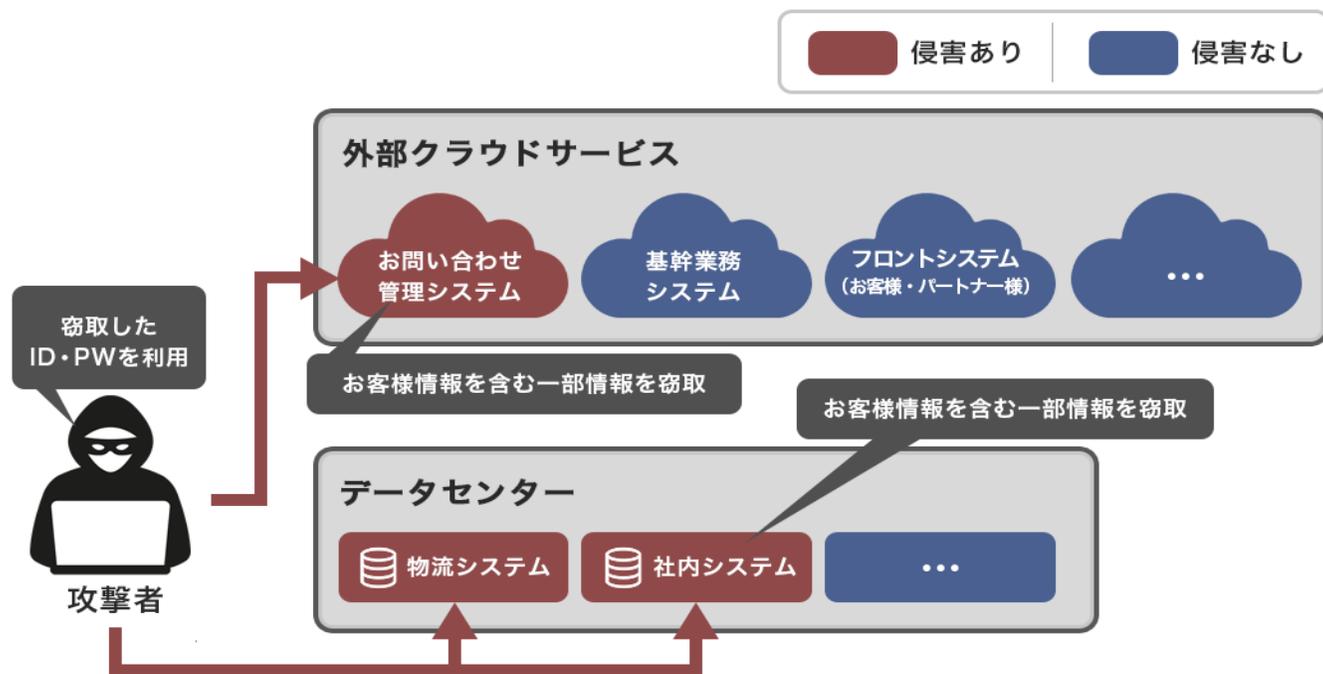


ランサムウェア攻撃の概要と対応



- ✓ 主に物流システムがランサムウェア感染、ASKUL・ソロエルアリーナ・LOHACOが一時的に出荷停止
- ✓ お客様情報を含む一部データが窃取・公開

利用システムの侵害範囲イメージ※



攻撃の概要

- ✓ 物流システムや社内システムが暗号化
- ✓ 外部クラウドサービスへも侵害

初動対応と安全性確保策

- ✓ 不正アクセス経路の遮断、感染端末の隔離
- ✓ アカウント管理の再構築
- ✓ 新規システム環境を構築、移行

※ 詳細は、2025年12月12日付プレスリリース「ランサムウェア攻撃の影響調査結果および安全性強化に向けた取り組みのご報告」<https://pdf.irpocket.com/C0032/PDLX/O3bg/N403.pdf>



課題の原因分析は完了、再発防止策を策定・取り組みを進める

課題	原因分析	再発防止策
不正アクセス	例外的に多要素認証（MFA※1）を適用していなかった業務委託先に付与していた管理者アカウントのIDとパスワードが漏洩	当社および業務委託先における ✓ すべてのリモートアクセスにMFAの徹底 ✓ 管理者権限の厳格な運用 ✓ 従業員の再教育
侵入検知の遅れ	✓ 一部物流センターでのEDR※2未導入 ✓ 24時間監視の一部未実施	✓ 全物流センターへのEDR導入を含む多層的な検知体制構築 ✓ 24時間365日の監視と即時対応体制整備
復旧の長期化	✓ オンラインバックアップが暗号化 ✓ ハードウェア機器へのセキュリティ対策手順に課題	✓ ランサムウェア攻撃を想定したバックアップ環境の構築 ✓ 機器管理の詳細化

※1 Multi Factor Authentication: IDやパスワードに加え、認証の3要素である「（スマホなどの）所持情報」「（指紋、顔などの）生体情報」のうち、2つ以上の異なる要素を組み合わせることで認証を行う方法。多要素認証

※2 Endpoint Detection and Response: PC、スマートフォン、サーバといったエンドポイントに侵入したサイバー攻撃の痕跡を検知し、迅速に対応するためのセキュリティ対策

※3 詳細は、2025年12月12日付プレスリリース「ランサムウェア攻撃の影響調査結果および安全性強化に向けた取り組みのご報告」

<https://pdf.irpocket.com/C0032/PDLX/O3bg/N403.pdf>

セキュリティ強化のロードマップ



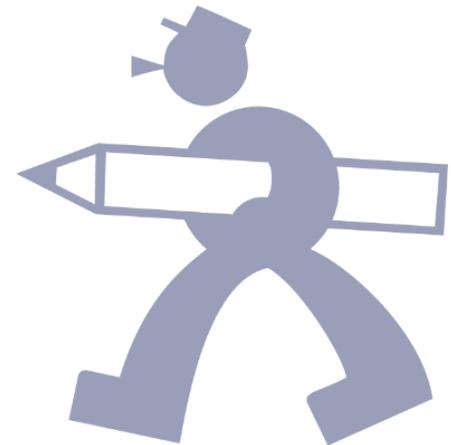
セキュリティ基盤の成熟度を高め、リスクマネジメント体制を再構築

フェーズ	短期（発生～数週間）	中期（数週間～数か月）	長期（半年～）
目指す姿	サイバー攻撃の封じ込めと安全確保	“気づける・防げる・対応できる”体制へと進化	“より強いサービス”をつくるための継続的アップデート
対応事項	<ul style="list-style-type: none">✓ 不正アクセス経路の遮断✓ 感染端末の隔離✓ 全アカウントのパスワード変更✓ 全端末のEDR強化✓ 残存脅威調査・対策✓ MFAの徹底	<ul style="list-style-type: none">✓ SaaSログ監視の強化✓ EDR/メールセキュリティ/ネットワーク防御等の継続的強化✓ SOC※124/365管理高度化✓ IT/OT※2（物流設備）の統合的横断的リスク管理の高度化✓ セキュリティ研修プログラムの高度化（ロール別）	<ul style="list-style-type: none">✓ 不正アクセスを防ぐ仕組み・運用ルールを含むセキュリティ対策の継続的アップデート✓ ランサムウェア事案を踏まえたBCP（事業継続計画）の見直し・強化✓ 外部専門機関による定期的なアセスメント実施

※1 Security Operation Center: ネットワークの監視を行い、リアルタイムで脅威を検知・対処する役割を担うサイバーセキュリティの専門組織チーム

※2 Operational Technology（運用技術）

01. 26/5期 第2四半期実績
02. ランサムウェア攻撃の概要と対策
- 03. 事業復旧状況と売上高回復施策**
04. 付録

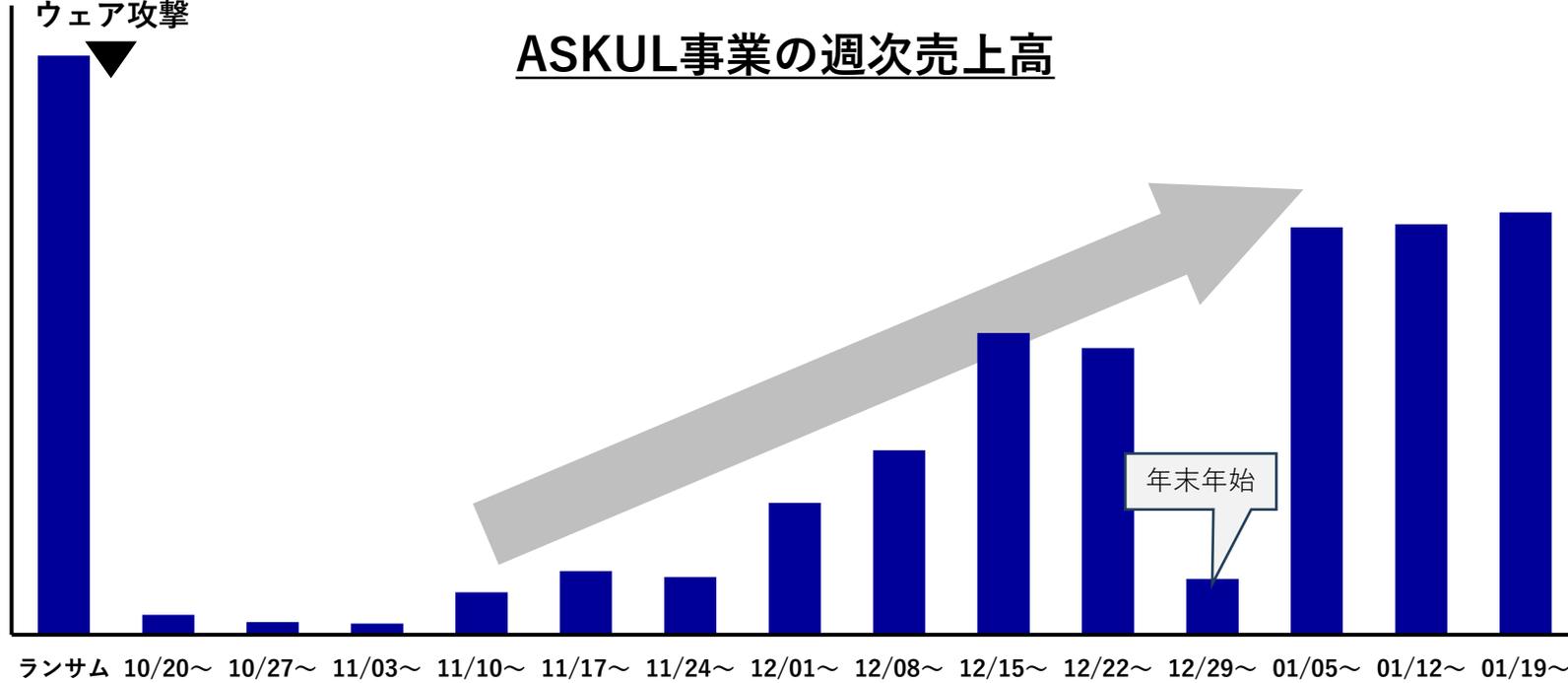




サービスレベルの復旧状況に応じて売上高は回復傾向

(円) ランサム
ウェア攻撃

ASKUL事業の週次売上高



大型販促により
完全回復を目指す

期間	10/20~	10/27~	11/03~	11/10~	11/17~	11/24~	12/01~	12/08~	12/15~	12/22~	12/29~	01/05~	01/12~	01/19~
受注	攻撃前													
出荷		✓ 手運用		✓ 手運用										
アイテム数 (在庫商品)		37		700			1,100			28,000		44,000	344,000	

受注再開: FAX受注再開 (10/27~), ソロエルアリーナ Web受注再開 (11/10~), ASKUL Web受注再開 (12/01~), LOHACO Web受注再開 (01/05~)
 物流センターシステム再稼働: 関東DC、東京DC (12/01~), 仙台DC、福岡DC (12/08~), 関西DC (12/15~), 大阪DC、名古屋DC (12/22~)



過去最大規模の販促により 26/5期末までにお客様数の回復を目指す

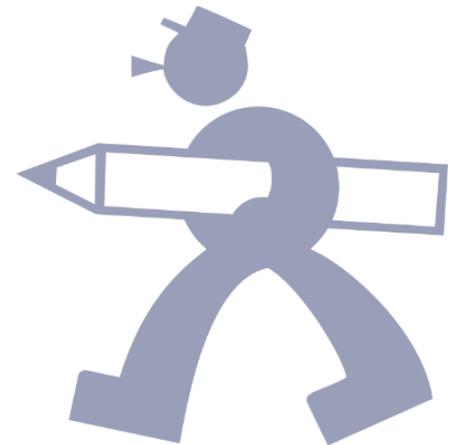
ASKUL

- ✓ 主力オリジナル商品20%以上値下げと
メーカー人気商品の特別セール
(復活特別企画ティザーサイト：https://www.askul.co.jp/f/promotion_2601/)
- ✓ 継続的な価格競争力強化
- ✓ エージェントとの連携による営業力強化

LOHACO

- ✓ 賞味期限間近の飲料・食品などの大規模アウトレットセール
- ✓ 「まとめ割」対象商品拡大・割引率強化
- ✓ LINEヤフー、PayPayとの連携による集客拡大

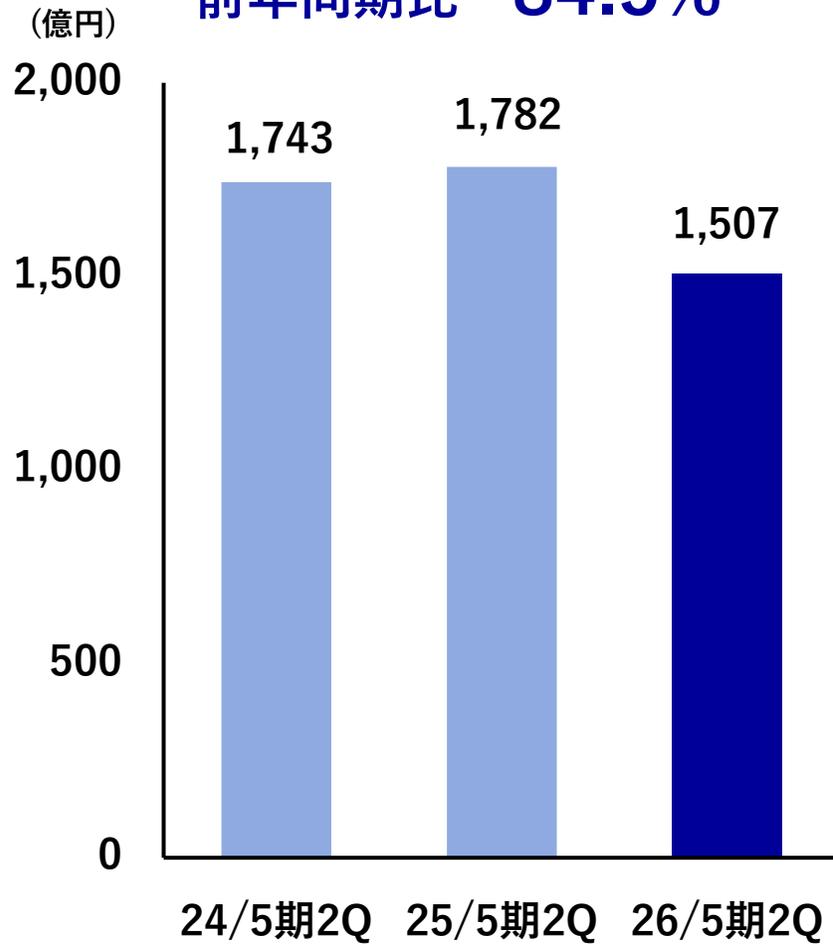
01. 26/5期 第2四半期実績
02. ランサムウェア攻撃の概要と対策
03. 事業復旧状況と売上高回復施策
- 04. 付録**





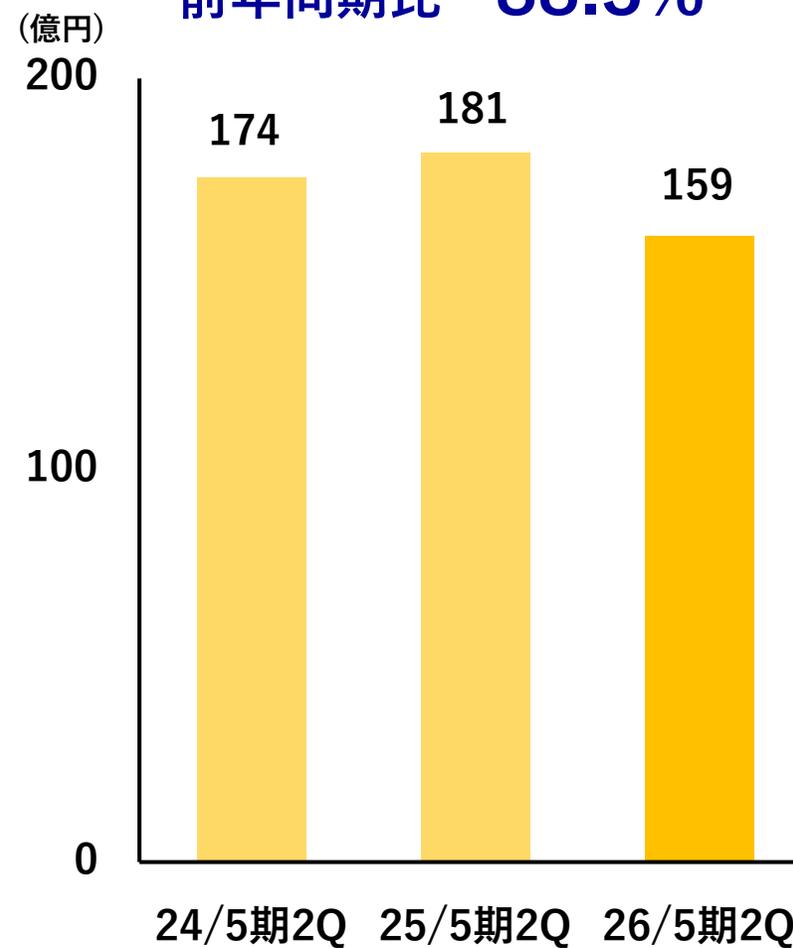
ASKUL事業

前年同期比 **84.5%**



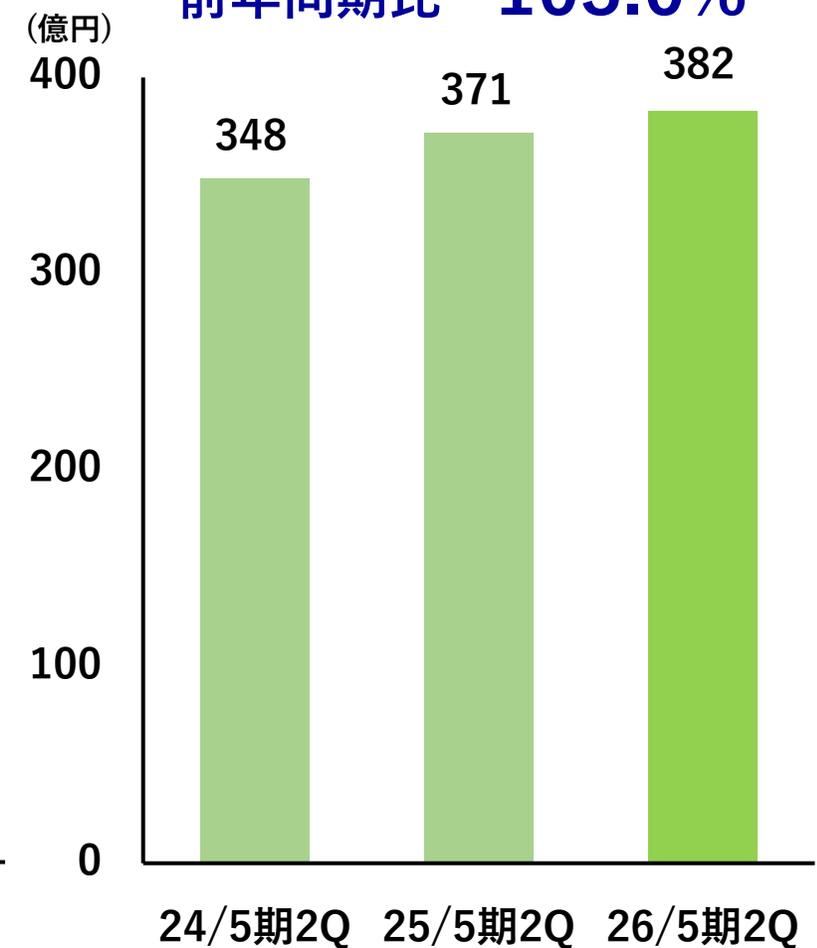
LOHACO事業

前年同期比 **88.3%**



グループ会社等

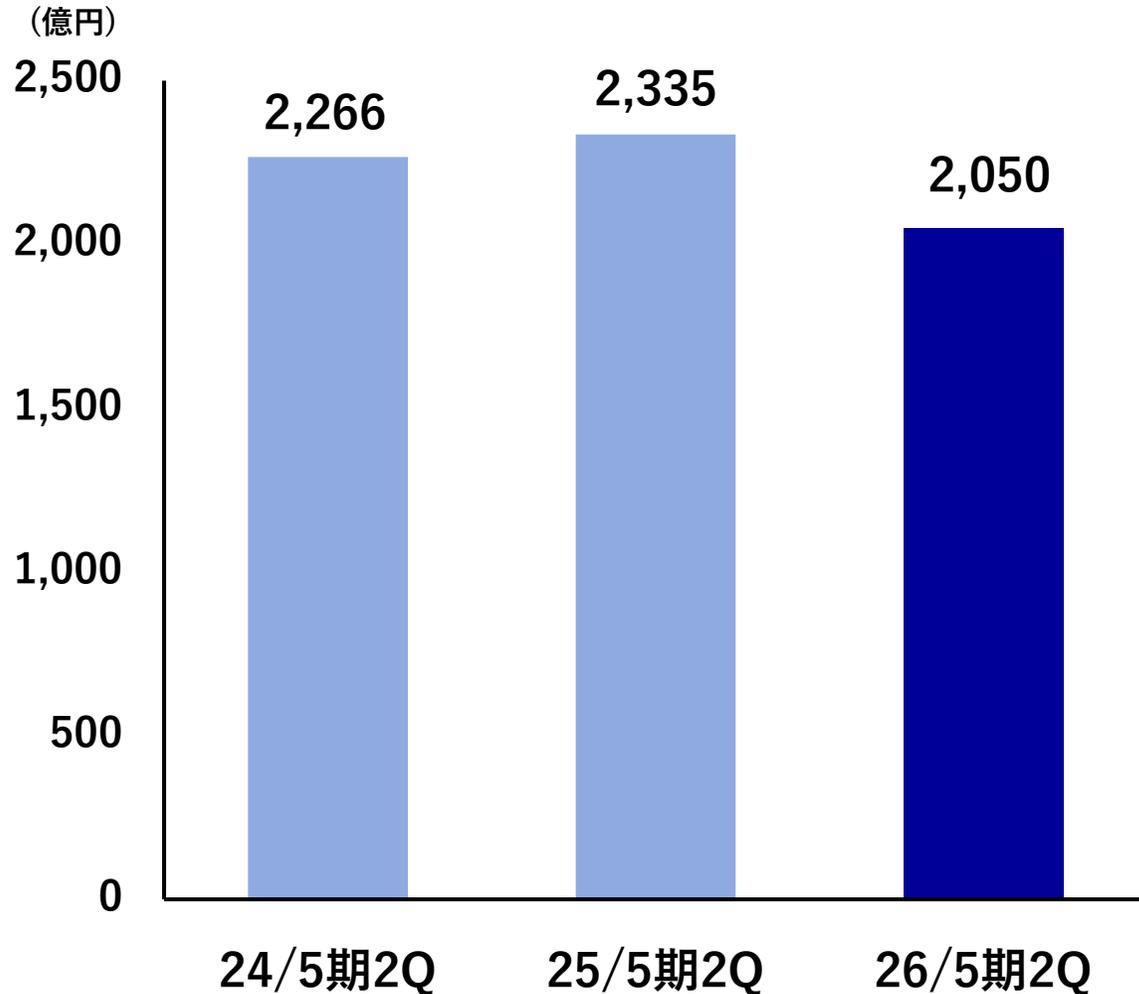
前年同期比 **103.0%**





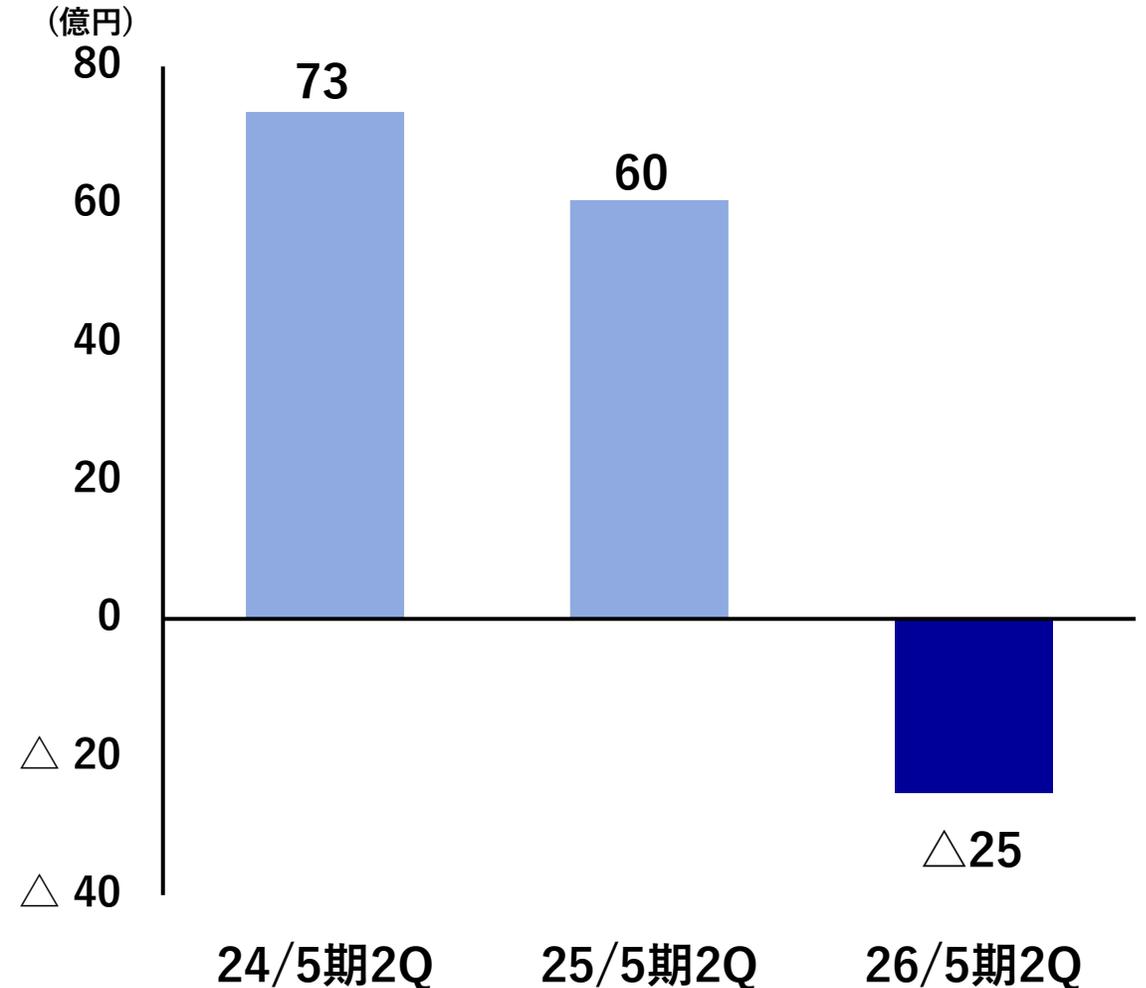
売上高

前年同期比 **87.8%**



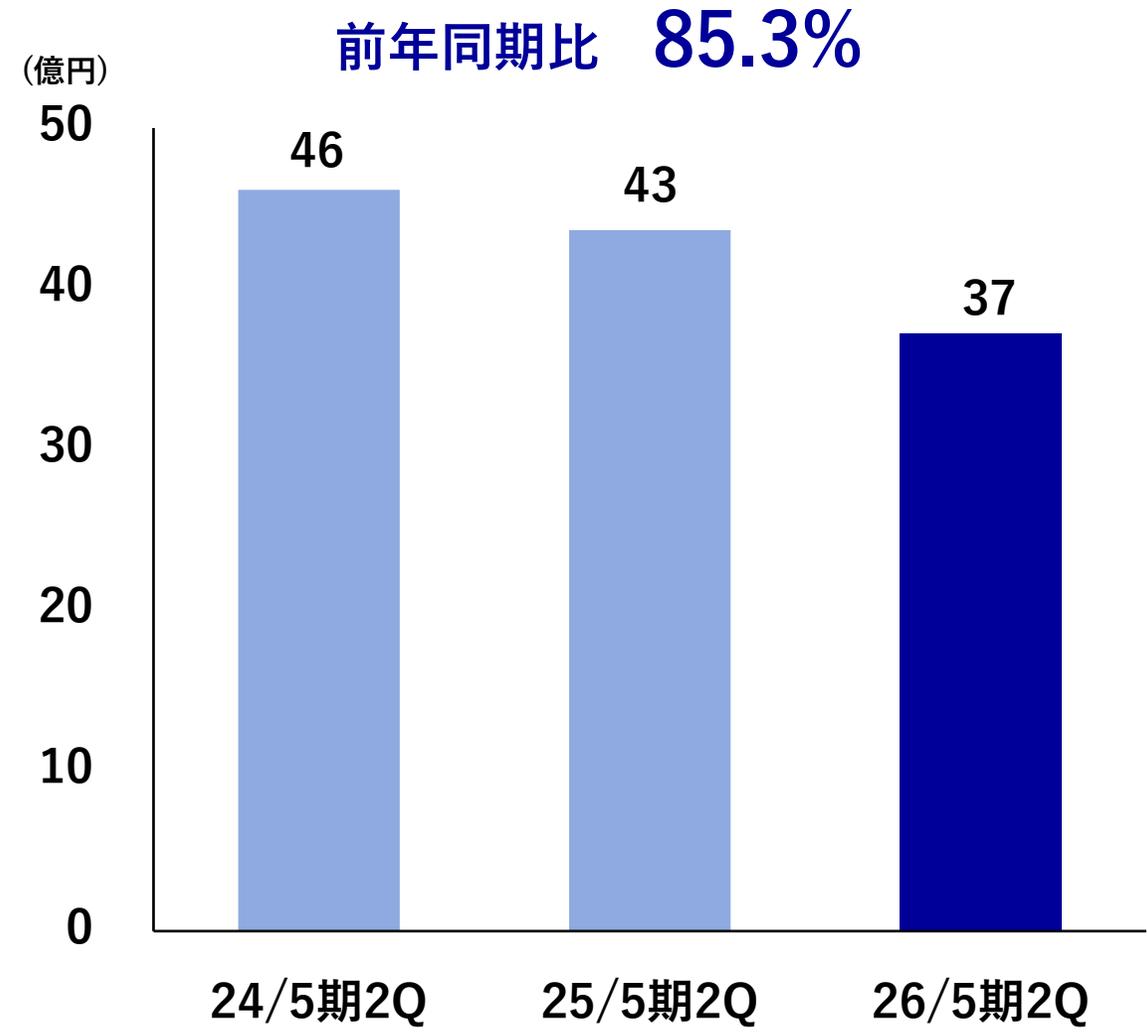
営業利益

前年同期差 **△85億円**

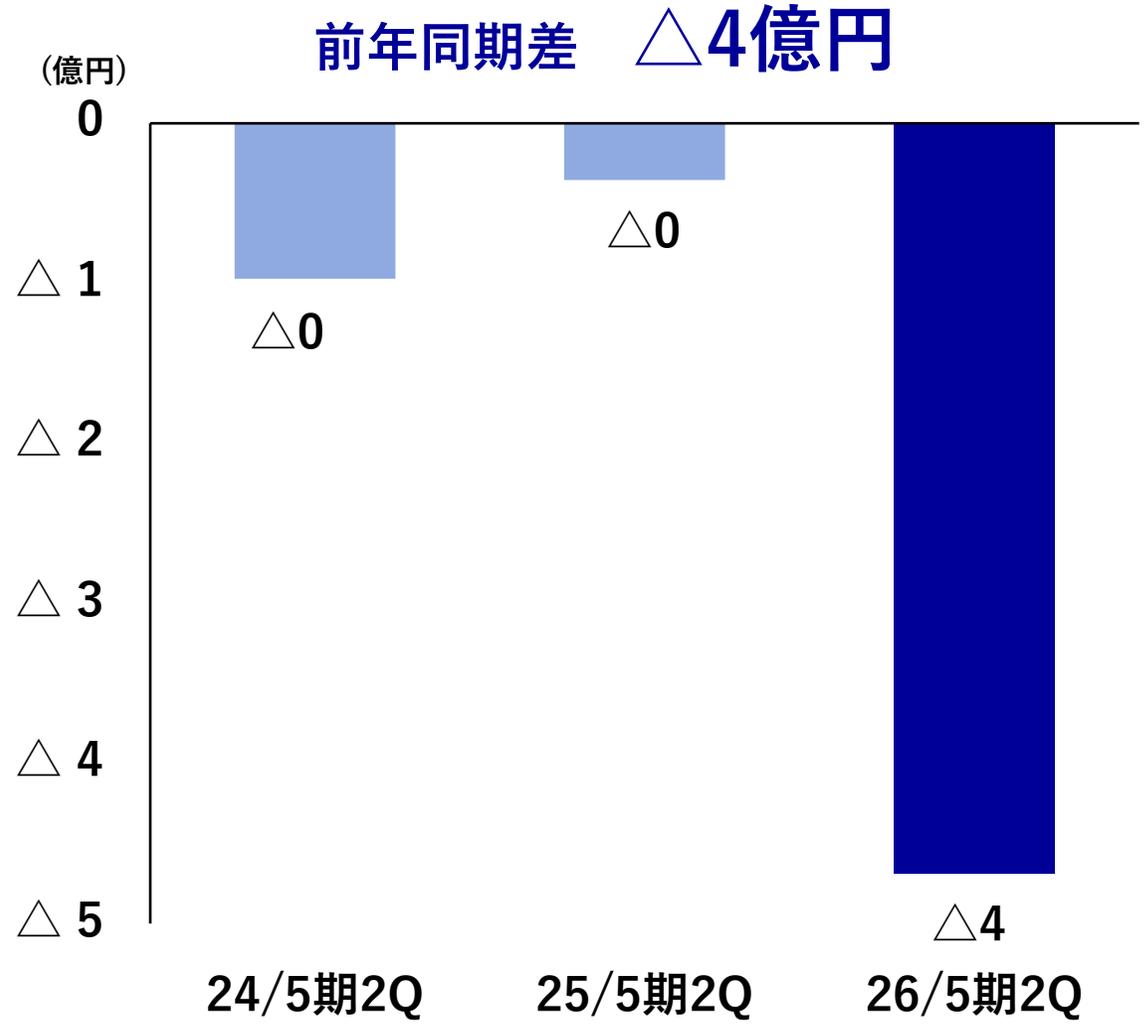




売上高



営業利益





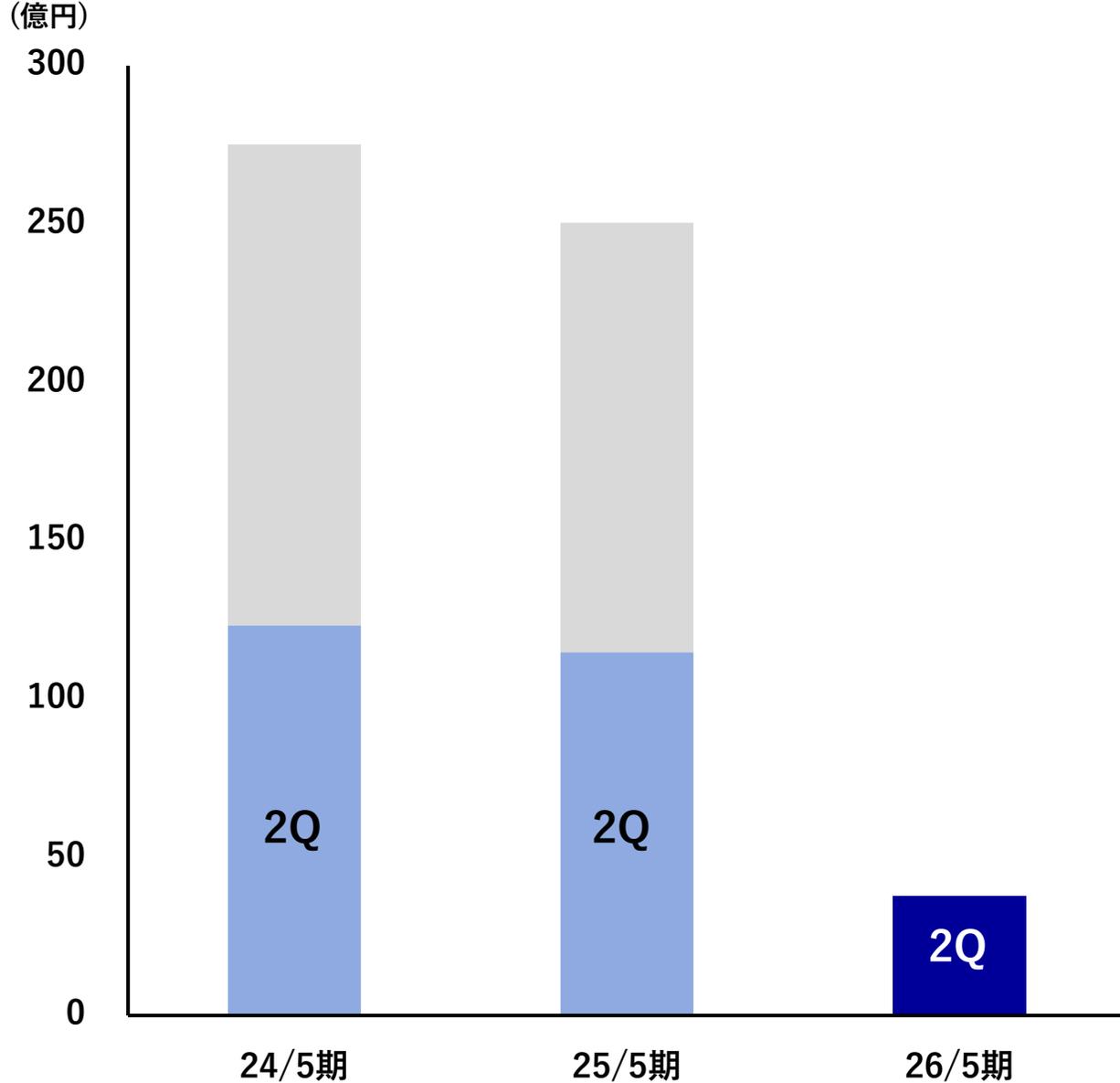
(億円)	24/5期		25/5期								26/5期					
	2Q		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q			
		構成比 %		構成比 %		構成比 %		構成比 %		構成比 %		構成比 %		前年同期差	前年同期比 %	
OA・PC	262	29.3	249	28.2	258	28.8	263	29.6	261	28.7	245	26.9	166	27.9	△ 92	64.4
文具	109	12.2	108	12.3	115	12.9	116	13.1	127	14.0	103	11.3	70	11.8	△ 45	60.8
生活用品	276	30.8	291	33.0	280	31.2	267	30.0	270	29.6	314	34.5	194	32.6	△ 85	69.5
ファニチャー	51	5.8	47	5.3	47	5.3	49	5.5	62	6.9	45	5.0	30	5.1	△ 17	63.1
MRO	111	12.4	106	12.0	112	12.5	109	12.3	110	12.1	118	13.0	77	12.9	△ 35	68.5
メディカル	61	6.8	63	7.1	61	6.8	63	7.1	60	6.6	65	7.2	41	7.0	△ 19	67.6
その他	24	2.7	17	2.0	22	2.5	20	2.3	18	2.0	18	2.0	16	2.7	△ 5	73.5
合計	898	100.0	883	100.0	899	100.0	890	100.0	911	100.0	910	100.0	597	100.0	△ 302	66.4

※ 24/5期より生活用品カテゴリの一部商品をファニチャーカテゴリへ付け替えております

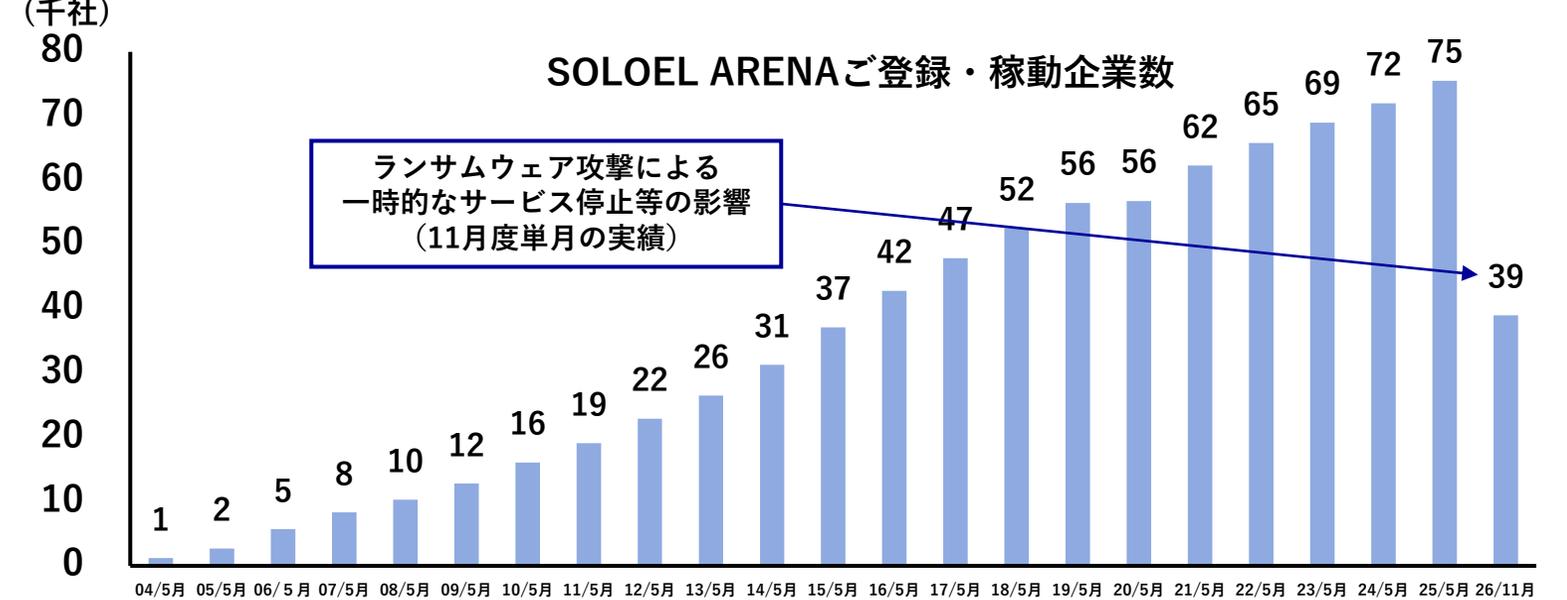
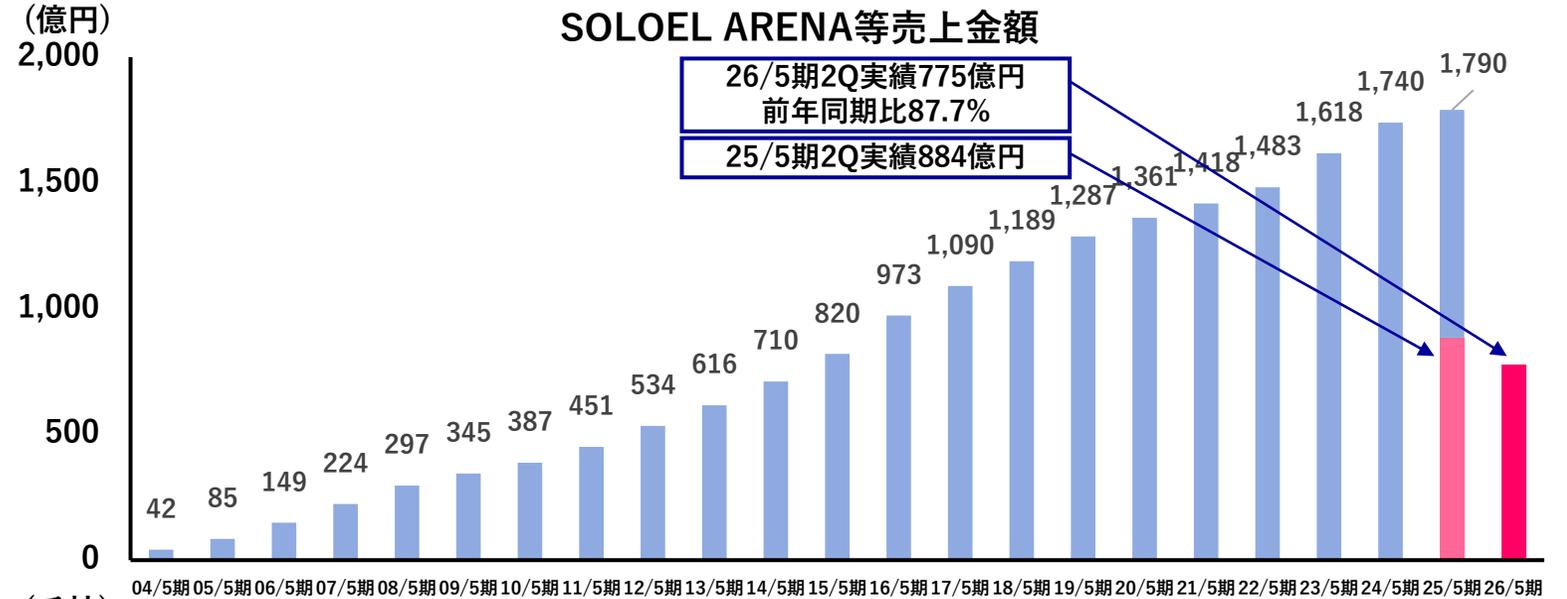
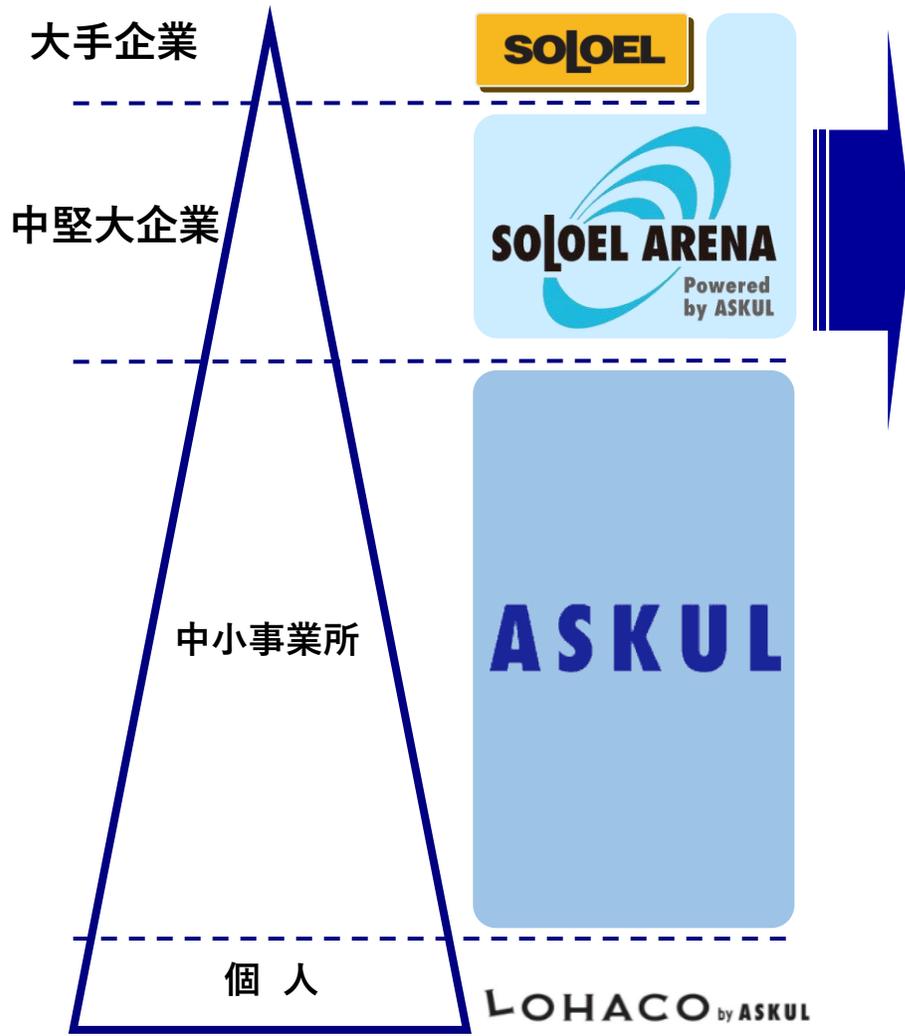
※ 24/5期2月度からエージェント制度の変更に伴い、文具やその他のカテゴリではプラスの影響が出ておりますが、マイナスの影響のカテゴリもあり、全体の売上高への影響は軽微です



(億円)	25/5期 2Q累計			26/5期 2Q累計			
		構成比%	前年同期比%		構成比%	前年同期差	前年同期比%
OA・PC	515	26.2	100.7	417	25.0	△ 98	81.0
文具	227	11.6	107.4	175	10.5	△ 51	77.2
生活用品	724	36.9	103.0	645	38.7	△ 79	89.1
ファニチャー	99	5.1	94.1	78	4.7	△ 21	78.7
MRO	222	11.3	102.1	199	11.9	△ 23	89.4
メディカル	135	6.9	109.7	116	7.0	△ 18	86.4
その他	39	2.0	89.6	34	2.1	△ 4	87.9
合計	1,964	100.0	102.4	1,667	100.0	△ 296	84.9



27/5期は回復へ



26/5期 2Q 売上総利益、販売費及び一般管理費

連結



売上総利益 502億円 前年同期差 △69億円

売上総利益率 24.1% 前年同期差 +0.0pt

販管費 532億円 前年同期差 +20億円

販管費比率 25.5% 前年同期差 +4.0pt

販売費及び一般管理費の明細 (2026年5月期 第2四半期 決算短信から)

科目	25/5期 第2四半期		26/5期 第2四半期		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	
人件費	12,459	5.2	13,164	6.3	105.7
配送運賃	10,991	4.6	10,156	4.9	92.4
業務外注費	3,040	1.3	3,422	1.6	112.6
業務委託費	5,781	2.4	5,559	2.7	96.2
地代家賃	6,227	2.6	6,429	3.1	103.2
貸倒引当金繰入額	14	0.0	4	0.0	31.8
減価償却費	2,116	0.9	2,632	1.3	124.4
ソフトウェア償却費	2,503	1.1	2,674	1.3	106.8
その他諸経費	8,016	3.4	9,167	4.4	114.4
合計	51,153	21.5	53,212	25.5	104.0



設備投資額 93億円(年間計画 152億円)

ASKUL関東DC 64億円

IT関連 12億円

(参考) 減価・ソフトウェア償却費 53億円※ (年間計画 122億円)

※営業外費用の休止固定資産減価償却費6.8億円を除く

投資詳細

(単位：百万円)

科目名	25/5期 第2四半期	26/5期 第2四半期	
	金額	金額	前年同期比
【 設 備 投 資 額 】	5,206	9,319	79.0%
有 形 固 定 資 産	2,145	6,551	205.4%
無 形 固 定 資 産	3,060	2,767	△9.6%
建 設 仮 勘 定 (注 2)	7,841	320	△95.9%
ソ フ ト ウ ェ ア 仮 勘 定 (注 2)	3,916	2,608	△33.4%

(注1) 設備投資額は当該期間の発生ベース額にて記載しております

(注2) 建設仮勘定およびソフトウェア仮勘定は当該(四半)期末残高を記載し、一部消費税等を含んでおります



2025年10月

大阪市西淀川区・GLP投資法人と「災害時における救助物資供給及び一時保管等に関する協定」締結

- ✓ 生活必需品が揃う物流拠点「ASKUL大阪DC」を活用し、地域の防災力強化に貢献
- ✓ 西淀川区の要請に応じて、アスクルが必要な物資を提供。国等から搬送される支援物資の一時保管や荷役業務を実施

2026年1月

CDP「気候変動 Aリスト（最高評価）」企業に3年連続で選定

- ✓ 国際環境非営利団体 CDPより、2025年度の最高評価「気候変動 Aリスト」企業として3年連続で選定
- ✓ 排出削減、気候変動対策、ネットゼロ目標などの取り組みが評価され
コーポレートサステナビリティにおける先進企業として認定

プレスリリース：<https://pdf.irpocket.com/C0032/KfQV/McB1/fS7t.pdf>

※CDPは企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを運営する非営利団体



本資料で用いられる略称・当社固有の表現など



BtoB	企業(Business)と企業(Business)との間で行われる取引
BtoC	企業(Business)と消費者(Consumer)との間で行われる取引
MRO	Maintenance, Repair and Operationsの略、本資料では主に企業が現場で消費する間接材を指します
ASKUL	中小事業所向けのオンライン通信販売事業（FAX受注を含む）のサービス名称
ソロエルアリーナ/ SOLOEL ARENA	中堅大企業向けのオンライン通信販売事業のサービス名称
SOLOEL	お客様と商品・サービスの複数サプライヤをつなぐプラットフォームの運営と提供、および、各種業務代行サービスを通じて、物品材の購買からサービス材の契約管理まで、間接材購買プロセス全体を一元的に支援するサービス名称
LOHACO	ヤフー株式会社（現LINEヤフー株式会社）との提携により2012年10月にスタートした一般消費者向けのオンライン通信販売事業のサービス名称
新アスクルWebサイト	中小事業所向け「ASKUL」サイトと中堅大企業向け「ソロエルアリーナ」サイトを統合して構築する新ECサイト 2023年7月に本格稼働がスタートし、ソロエルアリーナのお客様の新アスクルWebサイトへ移行が25/5期に完了。 26/5期中にASKULサイトのお客様移行を開始し、27/5期中に新アスクルWebサイトへの統合完了予定
広告ビジネス	メーカー各社を広告主として当社のECサイト等に広告を掲載するメーカー向けサービス
DC	Distribution Center（物流センター）の略。各地域の物流センターの名称は「地域名+DC」と略します



仕事場とくらしと地球の^{あす}明日に「うれしい」を届け続ける。